

第53回京都コンテスト コンテストレビュー

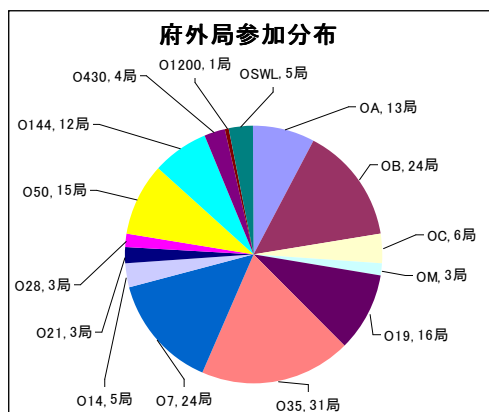
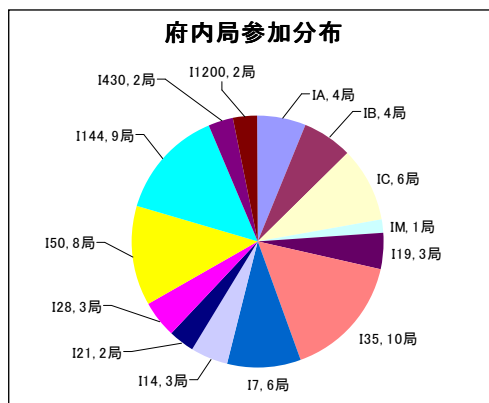
2009年2月7日(土) 20:00~2月8日(日) 16:00

京都コンテストは1.9MHzから5600MHzと幅広く各バンドで運用時間が区切られているためマルチバンドで参加し、上位に入賞するためにはどのような時間配分でどのバンドに参加をするかが入賞の鍵になります。今回、府内局各部門1位の方のログ情報を元にコンテストレビューを作成しました。次年度以降のコンテスト参加時にご活用下さい。

ログ提出局数の分布について

第53回京都コンテストでは府内局のログ提出は63局(昨年比+8局)でした。今年は昨年同様、府内局SWL部門、2400MHz、5600MHz以外はエントリー局がありました。その分、入賞の穴場狙いが非常に難しくなっております。比較の入賞しやすいといえば、21MHz、430MHz、それから1200MHzでしょうか。

参加部門	参加部門コード	参加局数
府内局マルチA部門	IA	4
府内局マルチB部門	IB	4
府内局マルチC部門	IC	6
府内局マルチマルチ部門	IM	1
府内局1.9MHz部門	I19	3
府内局3.5MHz部門	I35	10
府内局7MHz部門	I7	6
府内局14MHz部門	I14	3
府内局21MHz部門	I21	2
府内局28MHz部門	I28	3
府内局50MHz部門	I50	8
府内局144MHz部門	I144	9
府内局430MHz部門	I430	2
府内局1200MHz部門	I1200	2
府外局マルチA部門	OA	13
府外局マルチB部門	OB	24
府外局マルチC部門	OC	6
府外局マルチマルチ部門	OM	3
府外局1.9MHz部門	O19	16
府外局3.5MHz部門	O35	31
府外局7MHz部門	O7	24
府外局14MHz部門	O14	5
府外局21MHz部門	O21	3
府外局28MHz部門	O28	3
府外局50MHz部門	O50	15
府外局144MHz部門	O144	12
府外局430MHz部門	O430	4
府外局1200MHz部門	O1200	1
府外局SWL部門	OSWL	5

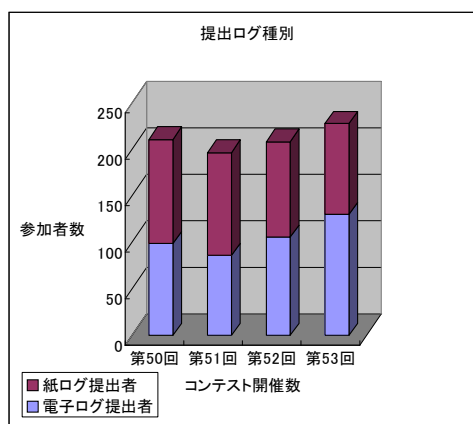
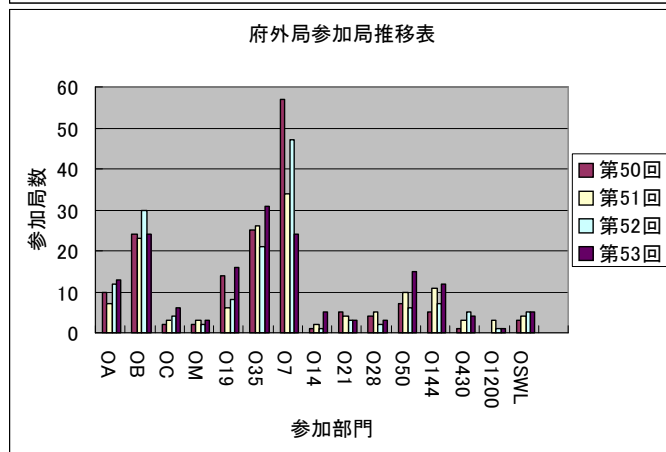
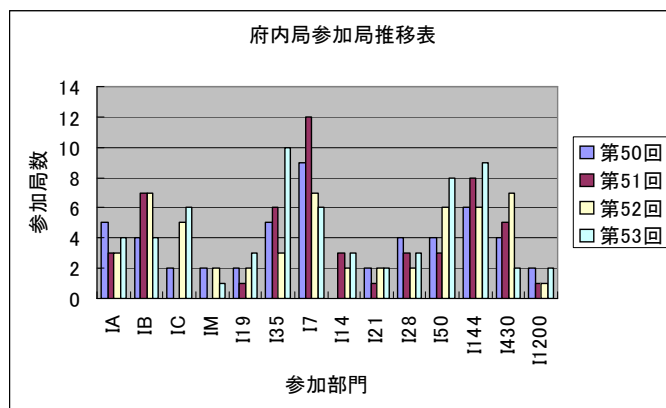


過去のコンテストログ提出局推移

今回のコンテストは、全国的に天候に恵まれ、府内局のログ提出数は第49回以降63局と最多となりました。また部門によってはエントリーがないなどログ提出部門を考えれば十分入賞する可能性はあります。

それから今年の特徴として、府内局の3.5MHzへのログ提出が大幅に増えたことと、その分7MHz、430MHzのログ提出局が少なくなっています。府外局も同様に1.9MHz、3.5MHz、50MHz、144MHzへのログ提出が大幅に増え反対に、7MHzのログ提出局が極端に少なくなっています。コンテスト終了後に、参加者のblogを拝見しましたが、どうも7MHzのコンディションが悪かった。府内局の参加が少なかったとの感想が多く書かれておりました。また50MHzでは2エリアからのログ提出が3局、4エリアからのログ提出が4局と3エリア外からのログ提出も多数頂きました。

参加部門		部門コード	第50回	第51回	第52回	第53回
府内局	マルチA部門	IA	5	3	3	4
	マルチB部門	IB	4	7	7	4
	マルチオペ部門	IC	2	0	5	6
	社団局部門	IM	2	0	2	1
	1.9MHz部門	I19	2	1	2	3
	3.5MHz部門	I35	5	6	3	10
	7MHz部門	I7	9	12	7	6
	14MHz部門	I14	0	3	2	3
	21MHz部門	I21	2	1	2	2
	28MHz部門	I28	4	3	2	3
	50MHz部門	I50	4	3	6	8
	144MHz部門	I144	6	8	6	9
	430MHz部門	I430	4	5	7	2
	1200MHz部門	I1200	2	1	1	2
	小計		51	53	55	63
府外局	マルチA部門	OA	10	7	12	13
	マルチB部門	OB	24	23	30	24
	マルチC部門	OC	2	3	4	6
	マルチオペ部門	OM	2	3	2	3
	1.9MHz部門	O19	14	6	8	16
	3.5MHz部門	O35	25	26	21	31
	7MHz部門	O7	57	34	47	24
	14MHz部門	O14	1	2	1	5
	21MHz部門	O21	5	4	3	3
	28MHz部門	O28	4	5	2	3
	50MHz部門	O50	7	10	6	15
	144MHz部門	O144	5	11	7	12
	430MHz部門	O430	1	3	5	4
	1200MHz部門	O1200	0	3	1	1
	SWL部門	OSWL	3	4	5	5
	小計		160	144	154	165
合計		211	197	209	228	



ログ提出方法の種別は以下の通りです。

今年も昨年同様、電子ログが紙ログを上回りました。

	第50回	第51回	第52回	第53回
電子ログ提出者	99	86	106	130
紙ログ提出者	112	111	103	98

周波数 (MHz)	CALL	1.9			3.5			7			14			21			28			50			144			430			1200			
		JR3E01/3	JK3HFN/3	JJ3JWV	JR3E01/3	JK3HFN/3	JL3JRY/3	JR3E01/3	JK3HFN/3	JA3YKE	JF3DOK	JR3E01/3	JR3EX	JR3E01/3	JA3ETD	JR3E01/3	JA3ETD	JR3E01/3	JR3E01/3	JS3UAB/3	JR3E01/3	JR3E01/3	JN3RAZ	JR3E01/3	JR3E01/3	JF4CAD/3	JR3E01/3	JR3E01/3	JR3E01/3	JR3E01/3	JR3E01/3	
47	岩手 IT	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	14	
48	秋田 AT	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10	
49	山形 YM				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	7		
50	宮城 MG				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	7		
51	福島 FS	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10		
52	新潟 NI		*		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	6		
53	長野 NN	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	8		
54	東京 TK	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	11		
55	神奈川 KN	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10		
56	千葉 CB	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10		
57	埼玉 ST	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	8		
58	茨城 IB		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	6		
59	栃木 TG	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	11		
60	群馬 GM	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	9		
61	山梨 YN				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	2		
62	静岡 SO	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	9		
63	岐阜 GF	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	7		
64	愛知 AC	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10		
65	三重 ME				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	3		
66	滋賀 SI	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	21		
67	奈良 NR	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	27		
68	大阪 OS	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	25		
69	和歌山 WK				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	13		
70	兵庫 HG	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	24		
71	富山 TY				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	2		
72	福井 FI					*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1		
73	石川 IK	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	4		
74	岡山 OY	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	8		
75	島根 SN				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	4		
76	山口 YG																												0			
77	鳥取 TT							*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	2		
78	広島 HS		*		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	6		
79	香川 KA					*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	4		
80	徳島 TS																												0			
81	愛媛 EH	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	6		
82	高知 KC					*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1		
83	福岡 FO	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	9		
84	佐賀 SG			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	5		
85	長崎 NS	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10		
86	熊本 KM				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	6		
87	大分 OT							*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	2		
88	宮崎 MZ				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	4		
89	鹿児島 KG	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	7		
90	沖縄 ON					*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1		
91	小笠原 OG																												0			
マルチ計		31	35	31	47	42	46	47	37	22	47	14	10	13	15	17	13	22	20	26	20	21	23	13	15	15	6	10	9			

府内局各部門1位の方がQSOできていない地域マルチ

53回 府内局各部門1位の方がQSOできていない地域マルチ(舞鶴市、綾部市、宮津市、後志、山口、徳島)

過去3年間 府内局各部門1位の方がQSOできていない地域マルチ(宗谷、留萌、日高、檜山、小笠原)

(参考) 52回 府内局各部門1位の方がQSOできていない地域マルチ(福知山市、与謝郡、舞鶴市、綾部市、船井郡、佐賀、飯沼、渡島、石川)

51回 府内局各部門1位の方がQSOできていない地域マルチ(福知山市、与謝郡、宮津市、南丹市)

今年は過去3年間入賞者がQSOできていなかった福知山市からJK3HFN/3、JF3NDW、JJ3RZX、与謝郡からは、JR3XEXがQRVされており日ごろサービスできなかった地域からのサービスが出来たと思います。QRV頂いた各局、ありがとうございました。固定局(JF3NDW、JJ3RZX、JR3XEX)の方は、来年もサービスお願いします。それから毎年、アクティビティが低い舞鶴市、宮津市、綾部市からのQRVは今年もありませんでした。(宮津市は昨年QRVがありました。)皆さんから頂いたQSOログ(電子データ)を拝見しましたが、舞鶴市、宮津市、綾部市からのQRVの形跡はやはりありませんでした。府外局のマルチは、やはり8エリア、JD1のマルチの獲得が難しいようです。過去3年間 宗谷、留萌、日高、檜山支庁、小笠原とのQSOがありません。そのほかに上位入賞者で後志、山口、徳島がQSOの記録がありませんでしたが、後志支庁からのQRVとしてJA8JFM(3.5MHz)の記録が確認されています。

次年度参加の方は上記マルチ獲得を目標に頑張ってください。

第二マルチ(JARL 京都非常通信協議会登録者)の状況

昨年度から、JARL京都非常通信協議会の発足に伴い、協議会登録者(ボランティア登録者)を第二マルチとしています。コンテスト開催日までの登録者は60名で、実際にコンテスト電子ログに記載されていた局数は18局となっております。参加率は30%となっております。来年は更なる非常時に備えての府内及びその周辺の電波伝搬の調査研究、通信技術の向上、アマチュア無線界の友好増進などを目指してボランティア登録者の積極的な参加をお願いいたします。

コンテスト参戦記

— コンテスト参戦記寄稿にあたり —

今年も京都コンテスト入賞者から「入賞の秘訣とコンテストを楽しむノウハウ」を伺い、来年度以降の京都コンテストの参加者の方々に「入賞できる運用方法」としてご参考にさせていただければと思い上位入賞者に寄稿のご協力をお願いしました。寄稿いただいた局長様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

----- 以下回答です。 -----

<府内局>

シングルオペマルチバンド A 部門 1 位

・コールサイン

JR3EOI

・使用機材

リグ: 1.9MHz-50MHz IC-756PRO2

144MHz-1200MHz IC-910D

アンテナ: ポール1 1.9/3.5/7MHz WIRE DP 12mh

14/21/28MHz R-DP 12mh 3エレのラジアルのみ

ポール2 50MHz R-DP 9mh 6エレのラジアルのみ

144/430/1200MHz GP(X-5000) 9mh

パソコン: win98 zlog

・なぜこの部門を選んだか

地方コンテストの管外部門で勝とうとすると入念な watch が必要になります。これはなかなかしんどいところがあります。また、シングルバンドで参加したときなど、同点なのに1分違いで入賞を逃したことがありました。また、CQ を出してもほとんどと言っていいくらい呼んでもらえません。スカーツとしないのです。

それでは地方コンテストの面白味は何だろうというと、やっぱり「呼ばれること」です。ということで、地方コンテストに参加するなら「乗り込み運用に限る」という図式ができあがってしまったようです。前には張り切って 遠いところまで出かけたこともありましたが、このところは年齢のせいもあってか、遠隔地には脚が伸びません。

京都コンテストは過去4回の乗り込み参加があります。たくさん呼ばれたかったので、4回ともマルチAでした。ということで、今回もマルチAへの参加となりました。

・獲得目標

設定した数値はありませんでした。たくさんの方と交信することだけを念頭においてコンテストに臨みました。

・改善, 強化点

過去4回の参加は、場所の確保が簡単にできるだろうということ・ローバンド用のアンテナの展張がしやすいだろうという理由で巨掠干拓地がを選んでいました。しかし時の経過と共に、このあたりには京滋バイパスが出来たりとかで、そろそろ無線をする環境ではなくなってきたような感じがしましたので(実際はそうでもないでしょうけど)、今回は綴喜郡井手町の万灯呂山を運用地としました。ここは過去にも多くの方が運用したところですが、いくらかの標高があるため V/U に有利にはたらくのではないだろうかと期待しました。

・準備

若かりしころは、運用地は事前に下見をしていました。最近は面倒になって、そういうことはしていません。だいたいポールは1本で十分ですが、設営場所の立木や枝の張り方によりうまくいかない場合があります。なので、今回は2本もっていきました。で、2本使いました。

1.9MHz から 1200MHz までの装備を用意しました。2.4GHz や 5.6GHz も用意できますが、京都コンテストでは過去に運用がないようでしたので、装備の軽減を考えて、もっていきませんでした。

あとは、食料・水・ビール・防寒具が必要でしょうね。

・コンテスト当日の行動

現地に到着後すぐ設営を開始して、夕方には完了しました。そこから食事をはじめ、20時のコンテスト開始に備えました。

・スタートから終了まで

土曜日はバンドの兼ね合いがありません。シングルバンドもマルチバンドも関係ない戦いですのでしっかり取り組む必要があります。

3.5MHz は、電信でいきなり CQ です。東になって呼んでもらえました。呼んで下さっているお客様を逃がすまじと、てきぱきとナンバーを送っていきました。1時間もすればあり呼ばれなくなってきましたので、次は電話です。まずは watchしながら府内局を探し、ひとまわりした後にあき周波数を見つけて CQ でした。電話も割と呼ばれるものです。このまま終了時間まで運用しました。

1.9MHz は、watch からはじめました。出てくる局も 3.5MHz よりは少なくなるるので、時間的なゆとりができますから、あわてて CQ を出すことはありません。「府内局は1局も逃さないぞ」という気持ちで臨みます。ひととおり watch し終えたら CQ です。19.MHz ですから途切れがちになります。すると探しに回って、それもなかったら前の周波数とは違うところで CQ でした。

日曜日はバンドが重なります。バンドの時間配分をどのようにこなしていくかが問われそうですけど、実際にはそんなに考えて行動したわけではありません。時間帯の短い方を先に運用しました。そうは言いますが、時間帯の長い方をちょろっとだけ運用して、次に時間帯の短い方にチェンジし、そこを時間までやりきって、また戻るという作戦もある訳でして、今のところでどれが効率がいいとかまでは分かっていません。あっちこち様子を窺いながら運用するのもそれほど難しくはないと思います。日曜日のバンドごとのレポートは細かくなりますので省略します。

・反省点

いちばん悔しい思いをしたのが、X-7000 につないでいた同軸ケーブルに整備不良があっ、て、144MHz にまともに出られなかったことです。RIG から出力が出ないのはどうしてかとオロオロしてまして、そのまま 144MHz の終了時間をむかえました。てっきり RIG が故障したのだと思っ

いたら、午後の部が始まる前にN型コネクタとケーブルの接続不良が発生していたことが判明しました。430MHz はしばらくの間、whipANT で運用し、交信の合間を狙ってコネクタあたりを修復していました。144MHz および 1200MHz のロスはけっこう大きかったと思います。

PH での CQ の出し方がどうも怖く聞こえるようで、神戸のローカル局からは、もっと呼んでもらいやすいようなオペを研究しなさいと言われました。PH に慣れていないのが丸出しだったようです。

シングルバンド1位との比較をしてみます。

BAND	Single B 1位	JR3E01/3
1.9	76x35→2584	81x35→2835
3.5	139x51→7089	138x54→7452
7	117x53→6201	114x54→6156
14	14x11→ 154	25x14→ 336
21	30x20→ 600	26x16→ 416
28	29x17→ 493	37x21→ 777
50	83x33→2739	72x30→2160
144	87x34→2958	62x27→1674
430	56x20→1120	48x16→ 768
1200	22x12→ 264	13x 9→ 117

144MHz のでの悪さが目立っています。その他の重複バンドでは、後少しの頑張りが必要でしょうか。

天気が良く、暖かったので設営・撤収をスムーズにおこなうことができました。

・次回参加の際のアドバイス

寒い季節ながら、電波の飛びそうな野外に出て移動運用すると高得点が望めると思います。



<府外局>

シングルオペマルチバンド A 部門 1 位

- ・コールサイン

JA3RSJ

- ・使用機材

リグ: FT-920, IC910D

アンテナ: 1.9-3.5Mhz: 短縮型、7Mhz: 1/2 波長 DP, 14-1200: 八木型 15mH

パソコン: ウィンドウ XP に最新バージョンのハムログ

- ・なぜこの部門を選んだか

コンテストを長い時間楽しむには、オールバンドが面白いし、私は隣接の奈良県なのでハイバンドも十分交信エリアであるのでいつもこの部門で楽しませて貰っています。

- ・獲得目標

毎回特段目標は決めておりません

- ・改善, 強化点

UHF 帯の ANT が今一歩なので改善強化したいと考えています。

- ・準備

コンテストは色々なローカルバージョンに参加しておりますので、今回も特段準備はしていません。

- ・コンテスト当日の行動

早い目に夕食を完了させ、いつものようにデスクに向かいワッチ

- ・スタートから終了まで

ひたすらワッチ

- ・反省点

なし

- ・次回参加の際のアドバイス

色々なコンテスト等に参加し、My コールサインを覚えて貰う事が大切と思い、参加しております。



当局で使用している ANT 写真です。(1.9~1200 までワークバンド含む)

意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。編集に当たりましては、単純なケアレスミス of 修正、語句の統一、複数部門に参加していて、ほぼ同じ内容のものはコールごとにまとめて掲載しております。ぜひ、2009年も京都コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想を書いていただき、写真なども寄せていただきたいと思います。

7L1ETP/1:

アンテナが途中で断線していたのに気づかず、何で SWR が悪いんだろうと頭を悩ませながらの参加でした。そんなわけで呼んでもとってもらえなかった局が数局。失敗しました。

JA1-22825:

参加できてうれしく思います。

JA1AAT:

3.5MHz JA3 弱く入感。1.9MHz 局数少なく1局のみ。時間の関係で……ログ 100%提出。参加賞送ってください。次回も QRV します。73

JA1COP:

電信シングルバンド部門の新設を期待しています。他の TEST に比べてルールが複雑です。シンプルにして府内局の参加を促すことですね。毎年参加局に新しい局がいません。

JA1IQK:

今年は残念ながらコンディションが悪く、聞こえる局がごくわずかでした。

JA1TQE:

バンド部門毎に細かに交信時間が異なるのはユニークですね。しかし、残念ながら当局のアンテナ・リグではほとんど聞こえませんでした。次回、頑張ります。コンテストの益々の盛会、御祈念申し上げます。

JA2HMD:

府内の参加局が少ない 2 月 8 日午後の 7MHz では SSB で 1 局も聞こえませんでした。残念。

JA2NGN:

21 時以後コンディションが悪くなって、たくさんの局長さんと交信できませんでした。

JA3AA:

所用のため 1.9MHz のみの参加になりました。次回はマルチバンドに出たいと思っております。京都コンテストの今後益々の発展をお祈りいたします。73

JA3ATK/5:

集計ごころうさまです。1 交信で同時に複数のマルチが発生すると規約にありましたが計算間違いがあると思しますので(PC にまかせたい)訂正お願いします。又来年も元気に参加します。ありがとうございました。

JA3EOE:

2 回目の参加で 楽しかったです、今後ともよろしく願います

JA3IUB:

最近送電線からの雑音で弱い信号が厳しくなりました。28MHz も参加する予定でしたが、この雑音には勝てず参加を断念しました。昔とは比較にならない程雑音が多くなって困っています。

JA3PYH/2:

木曾川の土手からは 1 局しか聞こえませんでした。

JA3QG:

主催局の参加が少ないようでしたね？

JA3QOS:

三十数年ぶりに府内局として参加しました。災害による停電を想定して車載用 12V バッテリー4基で運用しました。HF のログはチェックログとして添付します。申し訳ありません、3.5MHz の最初のところで、59922C07V59 と 22 を付加して送ってしまいました。

JA3RK:

1.9-430MHz の 9 バンドに QRV の予定でしたが 21MHz はリグ不調で波が出ず、残念

JA3RSJ:

京都各局ありがとうございます。7Mhzのコンディションが相変わらず悪かったですね。各局コンテスト他よろしくお願ひします。

JA3WDL:

1 時間だけの参加でした。楽しく交信できました。私にとって京都府内局の参加局でコールサイン、リポートがあまりにも早口で不明瞭な局が見うけられました。今後気をつけたいですね。

JA4-37294:

7MHz がスキップしており0局で終わり残念でした。

JA4BDY:

3.5 の CW のみでは相手に限りがありました。

JA4JY/3:

3 エレを解体した為、DP で僅か 7 局としか交信出来ず残念でした。コンディションが悪く、昨年の 1/3 一寸しか交信できませんでした。紙ログの整理は大変ですが、よろしくお願ひいたします。

JA5INF/1:

取りまとめお疲れ様でした。7MHz の Condx がいまいちでした。

JA5ND/3:

少ないですが、提出いたします。

JA6DIJ:

再開 2 年目の団塊世代のハムです。いろんなコンテストに参加しています。京都コンテストは初めて参加しましたが、ユニークなコンテストですね。

JA6FOF:

電信部門を設けてほしい

JA6JCL:

短時間のコンテストで、集中して参加できました。お相手いただいた皆様ありがとうございました。

JA7AEM:

外出が長引きスタートで出遅れました。CW だけではこの辺が限界でしょうか。

JA8-3339/7:

久しぶりにワッチしました。ローバンドのみの参加でした。

JA8EE:

1. コンテスト「参加証」の発行を希望します。 2. 提出書類を旧様式(B5)でも OK とのこと。時宜に適った規定と考えます。

JA9XAT/3:

各局ありがとうございます。

JE1EQS:

スキップして QSO できませんでした。残念です。

JE3CYH:

12 年ぶりに HF に復活しました。

JE3GDW:

短時間で集中してコンテストに参加できました。しかし、あまり局数が稼げなくて残念でした。

JE4ICX/1:

楽しく参加できました。集計御苦労さまです。

JE5JHZ:

約 30 分間の参加でしたが、楽しませていただきました。

JE7ENK/7:

モービルホイップでの運用でしたが楽しむことができました。

JE7HYK:

23 年ぶりの再開局、運用後、初のコンテスト参加させていただきました。

JF2FIU:

とにかく苦しかった！隣接エリアのハンディ・・・各バンド共にスキップで大変でした・・・フルパワーで呼んでも応答無いことが多数・・・早くコンディション上 がってください～！ 集計審査ご苦労様です！

JF3KQA:

久しぶりで京都コンテストに参加させていただきました。あと7MHzに出てマルチ B にしたかったのですが、所用で出られませんでした。交信いただいた方々ありが とうございました。

JF3LGC:

2 日目はあまり時間が取れませんでした。

JF3NAO/3:

お世話になります。今回、2回目のコンテスト参加となります。昨年は、府外局で参加 しましたが思ったほど交信出来なかったのが今回、府内局にての参加となりました。8 日(日)のみ、50～430MHz での参加で計画、8日(日)早朝より運用ポイントへ と向かい8時開始にあわせてアンテナ等セッティングし準備万端でおったのですが、た またま運用ポイント周辺の道路舗装工事とかち合っ ちゃい工事の方から軽く「退去」を命じられてしまいました。(笑) 急ぎ撤収ののち、綴喜郡宇治田原町へと車を走らせ 林道途上からの参加となりました。時間の関係とドタバタ劇で疲れてしまい、結局50 MHzのみでの参加となった次第です。各局、FB QSO有難うございました。

JF3NDW:

久しぶりのオンエアでした。各局ありがとうございました。

JF3PLF:

時間割の変更で、1200MHz が活発になりましたね。最後の稼ぎどころである7MHzで、近・中距離がスキップしてしま っていた のが残念でした。

JF4CAD/3:

規約改正で 430 部門の時間が繰り上げられてかつぎ上げでも戦いやすくなりました。ありがとうございました。昨年は 天気が悪かったのですが、今年は良い天気でも多くの局と QSO できました。

JF5IOA/3:

今年も何とか都合をつけてコンテストに参加することができました。自宅の貧弱なアンテナからの QRV なので、いま いち局数が伸びませんでした。

JF6OVA:

1. 9MHz3. 5MHzとも局数が延びて喜んでいましたが、7MHzで、昨年より減少、得点も下がった

JG1GCO:

参加者少ないですね。1 局しかできませんでした。

JG2CNS/3:

プアなアンテナの為、なかなか京都まで届きません。7MHzでの局数アップを期待したのですが、コンディション悪く残 念でした。

JG3GOM:

久しぶりに京都コンテストに参戦しましたが、耳がついて行きません でした。次回はもう少しがんばりたいと思いま す。

JH0QYS:

HF帯のコンディションがかなり悪く夜間帯の3. 5MHzも昼間の7M Hzも京都府内局とは数局のQSOでした。コン ディションが悪い為か、HF帯に 参加している京都府内局が少なく残念に思っています。 京都コンテストでも参加記 念にオリジナルの参加証の発行等をぜひ検討して欲しいと思っています。CU AG N！ 73！

JH1BEL:

初めての参加です。時間指定のため交信しやすかったですね。次回もがんばりたいと思いますが、参加局が沢山増えることを願います。

JH3BUM:

毎回楽しみにしています。

JH4EMK:

初めての京都コンテスト参加でした。2月8日の8:00~9:00の14MHz帯では、京都府内局の入感はありませんでした。また来年も参加したいと思います。

JH4FUF:

府内局の参加が少ないように思います、もっとPRを!!。集計ご苦労様です。

JH4JUK:

コンディション不調か?ほとんど聞こえず二日目はローカル行事で参加出来ず、最低の記録でした。

JH4RAL/3:

いつもお世話になります。今年はお天気も良く、朝から府内へ移動して参加できました。設備も設備も適当なスタイルでしたが、2時間しっかり楽しめました。次回はマルチバンドに挑戦したいと思います。

JH7GZF:

コンディションが悪い上、当局のANTもBFなためBFな結果になりました。

JH7KSU:

7MHz以外の入感なし。(3.5M、1.9Mはワッチしませんでした) またよろしく!

JH7UJI:

初めて参加させていただきました。3.5MHz帯はコンディションが悪かったのですが、2時間という短い時間でしたので、バンド内は結構にぎやかでした。

JI1IIF:

コンテストとは全く関係ありませんが、8Jや8Nなどの記念局はアクティブに運用していただきたいと思います。アマ無線の活性化のためによりしくお願いいたします。

JI1UDD:

集計ご苦労さまです。QSOが進まないうちにコンディションが悪くなり残念でした。

JI3LYG/3:

毎年雪に悩まされてチェーンを付けて林道を入れていく移動のコンテストですが、今年は雪も無く暖かでした。また例年に無く府内局、ボランティア局との交信が多く出来、府外のマルチは少なかったのですが、得点に結びついて様です。

JI3MCM:

次回もがんばりたいと思います。

JI3ZOX:

2月8日にHF帯のアンテナが不調になり、交信局は増えませんでした。次回も参加します。集計局ご苦労様です。

JI6DMN:

いつものOMが聞こえて嬉しく思います。

JI6DUE/3:

今回はマルチバンドCでログを提出します。昨年は雪の影響でQRVを途中で断念しましたが、今年は、天候に恵まれ比較的運用が楽でした。思ったより1200MHzは局数が多く楽しめました。しかしながら7MHzでは例年通り最後の30分間はバンドコンディションが落ちCQを出しても応答があまりありませんでした。全体的には参加局も多そうでしたので、結構楽しめました。可能であれば来年も参加したいと思います。HFは別途チェックログでお送りします。

JI7RRS/7:

ハイバンドが聞こえなくて残念でした。又時間の配分方は最高でした。書類にミスがありましたらチェックログとして下さい。

JJ3TTH:

O28 QRN が多く CONDX が悪いのか参加局が少ないのか、いまいちでした。O144 初めて 2m に参加しましたが、多数出ておられてにぎやかでした。

JK1DMT:

今年は 3.5MHz の CW のみで参加させていただきました。

JK1SDQ:

まだまだ Condx が悪く入感局が少なかったのが残念。

JK3LZI:

京都非常通信協議会の周知、啓発をするためには参加されているボランティアの局がとて最少なく思いました。コンテストの目的を達成するためにも多くのボランティア局の参加に期待します。

JK3LZI:

今年は特に 7MHz のコンディションが悪く、ローカル局との交信がむずかしかった。府内は亀岡が最長の距離であった。北部の局にとってはローカル局も少なくマルチも少ない。対等の関係で競争できる状態ではなかった。

JL3JRY/3:

集計ご苦労様です。今年も楽しく参加することができました。特に 160m のスタート時は、凄い PILE になりました。バンド別に開催時間が異なる京都コンテストの醍醐味です。移動先に迷ったのですが、今年は雪の影響がなかったので安心して移動することができました。さて、交信方法「呼び出し」の規定ですが、府内局移動局の場合、JL3JRY/3/KT とすべきか、とまどいました。規定によると府内局は、「DE JA3O×△/KT」とあります。実際の交信の中では「JL3JRY/3」という呼びかけがほとんどで、「KT」を使う場面は、呼び出しの「CQ TEST KT」がほとんどであったように感じました。

JL3RDC:

年々参加局が減ってきているようで寂しい限りです。

JL4CUN:

バンドによるものかも知れませんが参加局(府内局)が少ないので府外局も当然少なくなりますね。コンテストの PR 等も、もっと必要なかもしれませんね。コンテストの規約、プランは非常に面白いのですが...

JM3DUR:

集計ご苦労様です。コンディション悪く遠方と交信できませんでした。京都府支部の行事がダブっており、途中で閉局される人が居た。

JN1AEI:

参加者(京都府内局)の増員を求む。イニシャルと県の略号はやめたほうが良いのでは。ボランティア番号はマルチとして残しても良いと思う。

JN3ANO:

各局 交信ありがとうございました。

JN3CMQ:

初めて参加させていただきました。なかなか楽しいものですね。ただもっと参加者が増えないものでしょうか。

JN3XEZ:

マイペースで参加しました。点数やマルチを稼ぐというよりも 普段あまり QSO することのない方々との QSO を楽しむというスタンスです。

JN3XEZ:

マイペースで参加しました。点数やマルチを稼ぐというよりも 普段あまり QSO することのない方々との QSO を楽しむというスタンスです。

JN4JJJ:

コンテスト委員の方にはお世話になります。3.5MHz での京都コンテスト参加は初めてでした。20:30 以降はノイズが強くなり府内局が聞こえなくなり、少し残念な結果となりました。

JO3AYN:

毎年参加させていただいております。今年は参加の府内局が多く、楽しめました。

JO3OOP/3:

昨年と、うって変わって好転に恵まれ、楽しく参加することができました。終盤に電源トラブル等ありましたが、この季節にしては、昨年と、うって変わって好転に恵まれ、楽しく参加することができました。

JO3OWY/3:

今年も参加しました。昨年よりも多くの局と交信が出来て良かったです。

JO3PSJ/3:

今回初めて参加しました。局数はいまいち伸びなかったけど、標高 645m からの 1200M の飛びの良さを実感しました。

JO7UIT:

集計、お疲れ様です。少ないですが、参加させていただきます。

JR3AAZ:

集計お世話になります。今年も、1. 9と28にも参加させていただきましたが、得点の多い3. 5と21で エントリーさせていただきます。3. 5は、ベストスコアになりましたが、後半の一時間はスキップしてしまい、大変 KT 各局の信号が弱くなり困りました。21は、時間が早く成った為か昨年より寂しかったです。21・28ともKT局 同士の交信は聞こえるのですが、QSO になかなか至りませんでした。

JR3EOI/3:

マルチAには 2000 年以後の参加です。9年ぶりになるんですね。(2003 年には社団で参加しましたが) 月日の過ぎるのは早いものです。新支部長就任の賑やかな参加でした。前までは平地の田園地帯ばかりで運用していましたが、VU の飛びにやや不満を感じていたので、今回は標高のあるところから運用しました。VU は意気込んだところがあったのですが、GP のコネクタ内部で short してたりで、できればには少し不満が残りました。また、こちらがたくさんアンテナを展開していたにもかかわらず、日曜日のコンテスト開始前にすぐ近所で電波を出す御仁がおられて、144MHz ではたいへん困りました。午後からも参加されるような雰囲気でしたので、事情を説明し、お断り申し上げました。7MHz のコンディションは良くなかったですね。なぜだか7エリアばかり呼んできました。いろいろありましたが、満足できたコンテスト参加でした。

JR3FOS:

13.5 いつもよりSSBでのQSOが多くでき、楽しめました。17 近距離がスキップして交信局数が伸びず残念でした。

JR3SZZ/3:

今年も移動局が頑張りましたね FB なコンテストありがとうございました。

JR3XEX:

与謝郡からのQRVがここ数年ないとのこと、久しぶりの参加となりました。5 バンドに出ましたが結果はいまいち…当該コンテストには電信部門がないのが特徴？ですが、もうぼちぼちレビューの意見も尊重されてルール改正も考えられてはいかがですか？(マルチのコードの成り立ちからしても…)

JR4FLW/4:

今年の7MHzのコンディションは悪かったです。ほとんど府内局が聞こえませんでした。

JR5PPN:

いつもお世話になります 少ない交信局数ですがログを提出しますがお手数ですがよろしくお願ひします 参加各局ありがとうございました次回もよろしくお願ひします。

編集後記

昨年に引き続き第53回京都コンテストのコンテストレビューをお届けします。今年の京都コンテストはいかがでしたでしょうか。昨年は大雪の悪天候でしたが、今年のコンテストは天候にも恵まれ多くの方にご参加いただきありがとうございました。今年のコンテストログ提出者は昨年よりも全体的に増えたものの、府外のログ提出局のコメントには、府内局の参加局が少ないとのご意見を頂いております。今年は2日目のHFのコンディションがかなり良くなかったようです。通常7MHzの入賞局では少なくとも10,000ポイント以上の得点があるのですが、今年は6,000ポイント台とかなり点数を落としており、コンディションの悪さが伺われます。また今年も皆さんから頂いたご意見をもとに各バンドの開催時間の見直しを行いました。昨年はV/UHF参加者の移動運用時間が9時間になる課題の改善として6時間になるように変更しました。ハイバンドの移動がしやすくなり、1200MHzの活性化にもつながったのではないかとのご意見も頂いております。その他、ニューカムマルチの係数見直し、CW部門の新設など、今回、頂いた課題は次回の規約検討に生かして行きたいと思っております。また、今年も入賞のご協力を得て「コンテスト参戦記」を編集しました。ご協力いただきました、JR3EOI局、JA3RSJ局、ご協力ありがとうございました。紙面をお借りして御礼申し上げます。来年参加される方は、ぜひ今年の入賞者の参加の模様を参考にいただき入賞できるようにがんばってください。では来年の京都コンテストでお会いできることを楽しみにしています。

第53回京都コンテスト

コンテストレビュー

発行：JARL 京都府支部, JARL 京都クラブ

(kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)

発行日：2009年 5月

編集者：J I 6 D U E / 3 野原 英則